

1. 右の図で、四角形 ABCD, EFGH は正方形です。  
この図を使って、次のように三平方の定理を証明する  
とき、 にあてはまる式や数をかき入れなさい。

**証明**

正方形 ABCD の面積は、1 辺が  $(a+b)$  の正方形だと  
考えると  ..... ①

直角三角形 AFE の面積は

正方形 EFGH の面積は  $c^2$   
ここから、正方形 ABCD の面積は

$\times \frac{1}{2}ab + c^2 = 2ab + c^2$  ..... ②

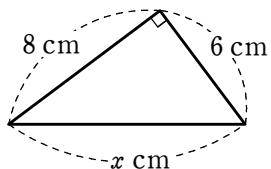
①, ② より  $(a+b)^2 = 2ab + c^2$

$= 2ab + c^2$   
 $a^2 + b^2 = c^2$

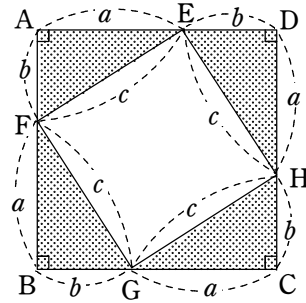
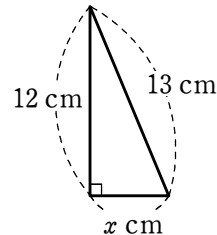
よって、直角をはさむ 2 辺の長さが  $a, b$ , 斜辺の長さが  $c$  である直角三角形では  
 $a^2 + b^2 = c^2$  という関係が成り立つ。 **終**

2. 次の直角三角形において、 $x$  の値を求めなさい。

(1)

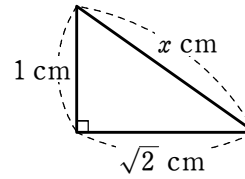


(2)

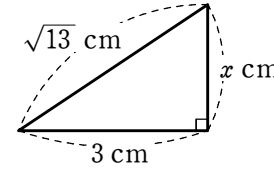


3. 次の直角三角形において、 $x$  の値を求めなさい。

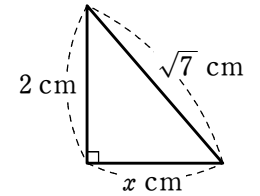
(1)



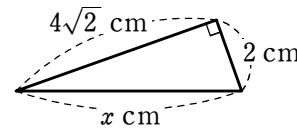
(2)



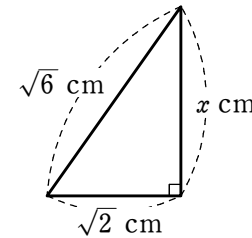
(3)



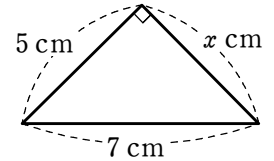
(4)



(5)



(6)



4. 次の 3 辺をもつ三角形が、直角三角形かどうかいいなさい。

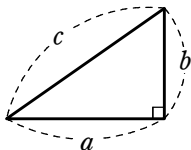
(1)  $\sqrt{2}$  cm, 2 cm, 3 cm

(2) 3 cm, 4 cm, 5 cm

(3) 1 cm,  $\sqrt{2}$  cm,  $\sqrt{3}$  cm

(4)  $2\sqrt{2}$  cm, 4 cm,  $3\sqrt{3}$  cm

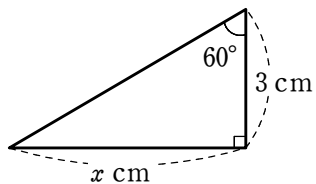
1. 右のように、直角をはさむ2辺を  $a$ ,  $b$ , 斜辺を  $c$  とする直角三角形があります。下の表の空欄にあてはまる数を求めなさい。



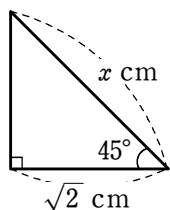
	$a$	$b$	$c$
(1)	6	8	
(2)	2		$\sqrt{10}$
(3)		$\sqrt{3}$	$\sqrt{15}$

2. 次の図において、 $x$  の値を求めなさい。

(1)

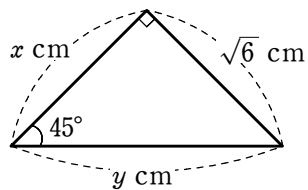


(2)

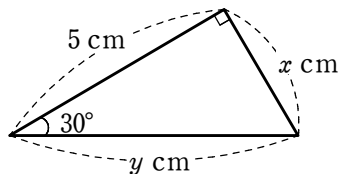


3. 次の図において、 $x$ ,  $y$  の値を求めなさい。ただし、分母に根号のない形で答えなさい。

(1)

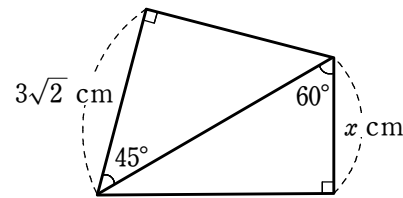


(2)

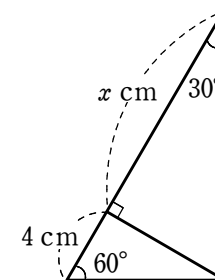


4. 次の図において、 $x$  の値を求めなさい。

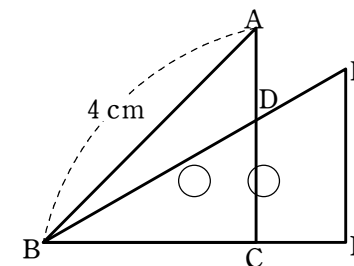
(1)



(2)



5. 右の図のように、三角定規を重ね合わせたとき、 $BD$  の長さを求めなさい。ただし、分母に根号のない形で答えなさい。



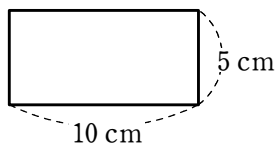
6. 次の正方形の1辺の長さを求めなさい。

(1) 対角線の長さが  $10\text{ cm}$  の正方形

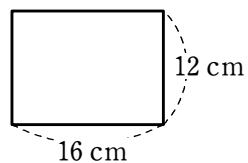
(2) 対角線の長さが  $3\sqrt{6}\text{ cm}$  の正方形

1. 次の長方形の対角線の長さを求めなさい。

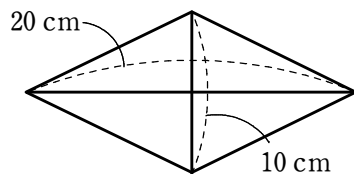
(1)



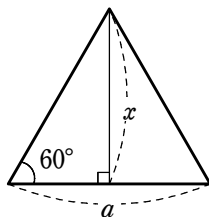
(2)



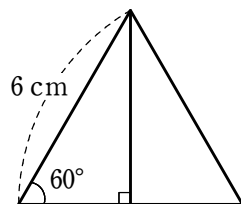
2. 対角線の長さが 10 cm と 20 cm のひし形の 1 辺の長さを求めなさい。



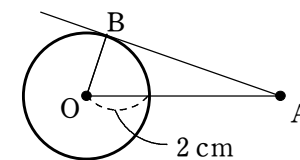
3. 1 辺の長さが  $a$  の正三角形の高さ  $x$  を求めなさい。



4. 1 辺の長さが 6 cm の正三角形の面積を求めなさい。



5. 右の図のように、半径 2 cm の円  $O$  があり、円  $O$  の外側にある点を  $A$  とします。また、 $A$  から円  $O$  に 1 本の接線をひき、円  $O$  との接点を  $B$  とします。 $\triangle OAB$  の面積が  $6 \text{ cm}^2$  のとき、線分  $OA$  の長さを求めなさい。

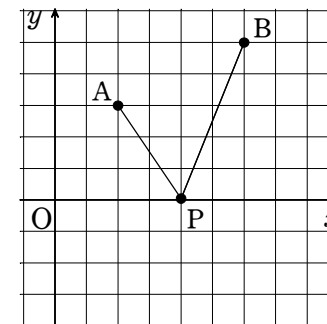


6. 次の 2 点の距離を求めなさい。

(1)  $A(3, 2), B(6, 6)$

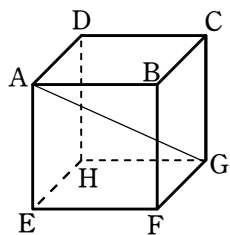
(2)  $C(2, 7), D(-4, 5)$

7. 座標平面上に点  $A(2, 3)$ 、点  $B(6, 5)$  があります。また、点  $P$  が  $x$  軸上を移動しています。線分  $AP$  と  $PB$  の長さの和がもっとも短くなる時、その長さを求めなさい。

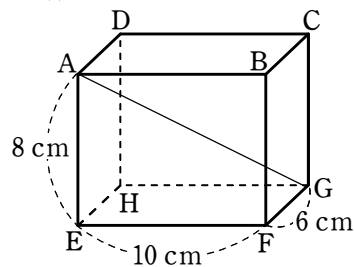


1. 次のような立体で、対角線  $AG$  の長さを求めなさい。

(1) 1辺が  $\sqrt{2}$  cm の立方体

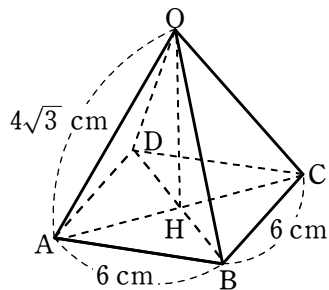


(2) 直方体

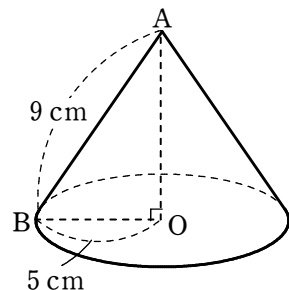


2. 次の立体の高さを求めなさい。

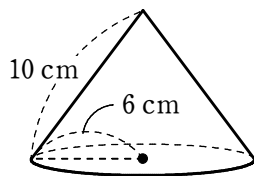
(1) 正四角錐



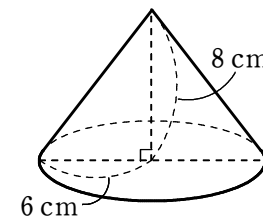
(2) 円錐



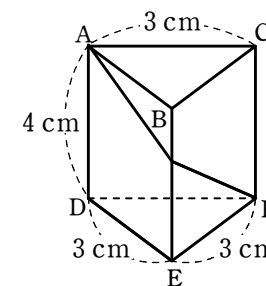
3. 右の円錐の体積を求めなさい。



4. 底面の半径が 6 cm、高さが 8 cm の円錐の表面積を求めなさい。



5. 右の図のように、正三角柱の表面に、A から線分  $BE$  を通るように F までひもをかけます。ひもの長さをできるだけ短くするとき、ひもの長さを求めなさい。



6. 右の図のように、1辺の長さが 1 cm の立方体  $ABCDEFGH$  を、3点  $B, D, E$  を通る平面で切断します。切り取った三角錐を、 $\triangle BDE$  が底面となるように平らな面においたときの高さを求めなさい。ただし、分母に根号のない形で答えなさい。

